

広報活動

県民が、疾病予防や健康の保持・増進及び生活環境に関する正しい知識を得て、健診・検査を受けるなどの適切な疾病予防行動に繋げることを目的とした普及啓発事業を実施した。

1 予防医学推進のための普及活動

結核・がん・生活習慣病等予防及びメンタルヘルス対策のために、県・市町・医師会及び各種関係団体等との連携に努めながら各種メディアの活用やイベントの開催・参加などによる普及啓発活動を展開した。

(1) 結核予防活動

県民の結核に関する意識の高揚と正しい知識の普及を図るため、次の活動を行った。

ア 結核予防週間運動の実施（9月24日から30日）

(ア) 県や市町及び学校等に結核予防のポスターやパンフレットを配付し、結核予防に関する普及啓発を行った。

- ・ポスター 980 部
- ・パンフレット 14,300 部

(イ) 結核予防に関するテレビ及びラジオでの告知放送や新聞への告知掲載を行い、県内のマスメディアを活用した普及啓発を行った。

- | | | | |
|------|--------------|-----|--------------|
| ・テレビ | 45秒告知 | 1 種 | 10 回（とちぎテレビ） |
| ・ラジオ | 20秒告知（※） | 1 種 | 23 回（エフエム栃木） |
| | 60秒告知 | 1 種 | 10 回（エフエム栃木） |
| ・新聞 | 半3段モノクロ告知 | 1 種 | 1 回（下野新聞） |
| | 栃木版半3段モノクロ告知 | 1 種 | 1 回（読売新聞） |
| | 栃木版半3段モノクロ告知 | 1 種 | 1 回（朝日新聞） |

（※）当事業団の職員による収録・放送

イ 複十字シール運動の実施

(ア) 結核予防活動の一環として、公益財団法人結核予防会が全国的に行う「複十字シール運動」に協力し、9月から12月まで募金活動を実施した。

この募金は、全額を公益財団法人結核予防会に納付し、結核予防の広報や教育資材の作成・調査研究に役立てられる。

- ・令和4年度募金額 1,498,881円

(イ) 結核などの胸部に関する疾患予防の普及啓発活動として行っている「全国一斉複十字シール運動」の開始にあたっての栃木県知事への表敬訪問を7月19日に3年ぶりに実施した。栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）との合同で、結核の現状報告並びに複十字シール運動への協力を依頼した。

(ウ) 「複十字シール運動」の意義を広く県民に伝え、結核予防思想のより一層の普及を図ることを目的とした「街頭キャンペーン」を3年ぶりに実施した。栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）との共催で、9月23日に宇都宮オリオン通り商店街東武駅前アーケードで募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配付などを行った。

(2) がん征圧活動

県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行った。

ア 栃木県がん征圧月間運動の実施（9月1日から30日）

(ア) 栃木県及び一般社団法人栃木県医師会との共催により「栃木県がん征圧月間運動」を実施した。県や市町等のほか、県内の教育機関にがん検診に関するポスターやリーフレット等を配付し、がん予防に関する普及啓発を行った。

- ・ポスター2種（がん征圧、禁煙 各1,270部） 計 2,540 部
- ・リーフレット2種
（がん検診：4,000 部、乳がん検診とブレスト・アウェアネス：4,000 部） 計 8,000 部
- ・冊子（がんを知ろう） 2,300 部

(イ) がん検診に関するテレビ及びラジオでの告知放送や新聞への告知掲載を行い、がん征圧運動を周知した。

- ・テレビ 45秒告知 1種 20回（とちぎテレビ）
- ・ラジオ 60秒告知 2種 29回（エフエム栃木）
- ・新聞 半3段モノクロ告知 1種 1回（下野新聞）
折込紙見開き1/2フルカラー告知 1種 1回（下野新聞折込紙「アスポ」）
栃木版半3段モノクロ告知 1種 1回（読売新聞）
- ・立て看板（とちぎ健康の森エントランスに設置）1ヵ所

(ウ) がん対策運動のシンボルカラーとして有名な乳がんの“ピンク色”のライトアップを、9月1日から10日に宇都宮タワー（八幡山公園）で実施したほか、9月16日から10月15日に栃木県健康増進課との共催で栃木県庁昭和館のライトアップを実施した。

(エ) がんに関する正しい知識の普及とがん検診の啓発を目的とした「街頭キャンペーン」を9月23日に宇都宮オリオン商店街東武駅前アーケードにて4年ぶりに実施した。

イ がん征圧募金運動の実施

(ア) がん征圧活動の一環として「がん征圧募金運動」を9月から12月まで実施し、県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を行った。

この募金は、がん征圧の普及啓発活動に役立てている。

- ・令和4年度募金額 3,037,629 円

(イ) がん征圧募金に関するラジオでの告知放送や新聞での告知掲載を行った。

- ・ラジオ 20秒告知（※） 1種 21回（エフエム栃木）
- ・新聞 1面突出しフルカラー告知 1種 1回（下野新聞）
半3段モノクロ告知 1種 2回（下野新聞）
栃木版半3段モノクロ告知 1種 2回（読売新聞）
栃木版半3段モノクロ告知 1種 2回（朝日新聞）

（※）当事業団職員による収録・放送

ウ 県内プロスポーツ試合での普及啓発

乳がんを中心としたがんに関する正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的とした「とちぎ de ピンクリボン」イベントを男子プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）の宇都宮ブレックス主催試合の冠スポンサーとなり、12月3日、4日の2日間ブレックスアリーナ宇都宮で行った。乳がんに関する資料配付やパネル展示、場内アナウンスや大型ビジョン等を活用して乳がんをはじめとしたがん検診の普及啓発を行った。

エ がん予防に関する意識を高めるイベントへの参加

公益財団法人日本対がん協会とボランティアによる地元実行委員会が主催する、がん患者並びにその家族と支援者のためのチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022とちぎ」（9月17日：壬生町総合公園陸上競技場）が、3年ぶりに現地で開催され、事務局として参画した。新型コロナウイルス感染症の影響により短縮しての開催となった。

当事業団はルミナリエに協力したほか、リレーウォークにも参加した。

オ その他の主ながん検診受診率向上への取組

厚生労働省、都道府県等が主催する各種普及週間・月間に呼応し、がん検診に関するテレビ及びラジオでの告知放送や新聞への告知掲載を行い、がん検診受診率向上のための啓発活動を行った。

・テレビ	45秒告知	5種	70回（とちぎテレビ）
・ラジオ	20秒告知（※）	4種	94回（エフエム栃木）
	60秒告知	2種	38回（エフエム栃木）
・新聞	1面突出しフルカラー告知	4種	4回（下野新聞）
	半3段モノクロ告知	1種	1回（下野新聞）
	栃木版半3段モノクロ告知	1種	1回（読売新聞）

（※）当事業団の職員による収録・放送

(3) 生活習慣病等予防や生活環境に関する普及活動

県民の生活習慣病等予防や疾病の早期発見及び生活環境に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行った。

ア 禁煙週間（5月31日から6月6日）の普及啓発

(ア) 禁煙に関するポスターの配付と展示

・禁煙ポスター（配付）282部

（展示）とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・食品環境検査所・事業団打合せコーナー

(イ) 禁煙週間に関するテレビでの告知放送や新聞への告知掲載を行った。

・テレビ	45秒告知	1種	10回（とちぎテレビ）
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種	1回（下野新聞）

イ 栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間（11月1日から30日）

(ア) 県から提供を受けた普及啓発ポスターやリーフレットの配布等を行い、糖尿病予防と重症化防止のための啓発活動を行った。

・世界糖尿病デーポスター（展示）とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・食品環境検査所受付

・リーフレット（配布）4種 計400部、とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

(イ) 糖尿病予防に関するテレビでの告知放送や新聞への告知掲載を行った。

・テレビ	45秒告知	1種	20回（とちぎテレビ）
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種	1回（下野新聞）

ウ 生活習慣病等予防の普及活動

生活習慣病予防やメンタルヘルスに関するテレビ及びラジオでの告知放送や新聞への告知掲載を行い、健診・検査等の意義や目的を周知し、受診率向上を図った。

・テレビ	45秒告知	6種 110回（とちぎテレビ）
・ラジオ	20秒告知（※）	4種 92回（エフエム栃木）
・新聞	1面突出しフルカラー告知	6種 6回（下野新聞）
	半3段モノクロ告知	1種 1回（下野新聞）
	栃木版半3段モノクロ告知	1種 1回（読売新聞）

（※）当事業団の職員による収録・放送

エ 生活環境に関する普及活動

(ア) 食品衛生月間（8月1日から31日）に併せ、手洗いの励行や食品の温度管理等とハサップに関するテレビ及びラジオでの告知放送や新聞の告知掲載を行い、意識の向上と知識の普及を図った。

・テレビ	45秒告知	1種 20回（とちぎテレビ）
・ラジオ	20秒告知（※）	2種 53回（エフエム栃木）
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種 1回（下野新聞）

（※）当事業団の職員による収録・放送

(イ) 県内のマスメディアを活用して、簡易専用水道検査の受検勧奨を行った。

・ラジオ	20秒告知（※）	1種 22回（エフエム栃木）
------	----------	----------------

（※）当事業団の職員による収録・放送

オ 関係機関等との連携・協力による普及活動

(ア) 県や市町及び民間団体等で実施される健康関連イベントに例年協力し、パネル展示やリーフレット・啓発品の配付を行うなど、健診・検査の重要性について普及啓発を行ってきたが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響から、協力においては一部のみとなった。

- ①とちぎ健康の森フェス（社会福祉法人とちぎ健康福祉協会：とちぎ健康の森6月4日）
禁煙、肺がんに関するポスターの掲示、普及啓発グッズの配付
- ②市町及び事業所の実施する健康に関するイベントへの普及啓発グッズの提供（2市町）
ノベルティ4種 計640部

(イ) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会が発行する機関紙等を県、市町、受診団体等へ配付した。

・複十字誌（公益財団法人結核予防会）	2,754部
・健康の輪（公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会）	240部
・対がん協会報（公益財団法人日本対がん協会）	7,397部
・予防医学ジャーナル（公益財団法人予防医学事業中央会）	216部

2 健診・検査受診率向上のための普及活動

疾病の早期発見・早期治療のためには健診・検査を受診することが非常に重要であることから、ホームページや定期情報誌を通じて健診・検査の意義や効果を啓発する事業を実施し、受診率の向上を図った。

(1) ホームページの公開

事業内容や採用情報など当事業団の情報や、調査・研究事業から得た情報を掲示するほか、健診・検査の基礎知識や生活習慣病、食品の取扱いについてなど、県民の健康保持増進に役立つ情報を配信した。また、厚生労働省や栃木県のホームページから収集した新型コロナウイルス感染症に関する啓発資料を、サイト閲覧者が利用しやすいようにまとめ、公開した。

(2) 定期情報誌の発行

健康や環境に関する最新情報や保健事業への取組及び活動状況などを掲載した定期情報誌「げんきとちぎ」を年2回、各1,500部発行し、県、市町、受診団体、医療機関、大学や全国の関係団体などに配付したほか、とちぎ健康づくりセンターのロビーにも設置し、ホームページでも公開した。

また、食品検査事業の内容と生活環境に関する関心を高めるとともに、ノロウイルスの予防や検査について周知するために、広報誌「アシストAssist」を年3回、各3,000部発行し、食品検査の受検機関や県内の関係団体に配付したほか、とちぎ健康の森の人間ドックフロアにも配置し、ホームページでも公開した。

(3) 看板等を利用した普及啓発

JR宇都宮駅改札前通路の構内広告設備を利用して、生活習慣病及びがん検診に関する看板を作成・掲出し普及啓発を通年実施した。また、栃木県庁舎のエレベーター内にもがん検診の受診を啓発するポスターを掲出し普及啓発を通年実施した。